

しばやま『スター名鑑』

#3

このコーナーでは、さまざまな分野で活躍する町内のスターを紹介します。



吉川 穂佳 / HONOKA YOSHIKAWA (山中東)

平成20年8月17日生まれの11歳。父親が空手の指導者をしており、兄が空手をしていたことをきっかけに、5歳から空手を習い始めました。

現在は、芝山町で活動している「空手道 白真会」に所属し、日々稽古に励んでいます。

—— 日本代表選手として国際大会に出場

吉川さんは、平成31年4月7日に開催された第3回国際ジュニアユース空手道選手権大会(ジュニアユースクラス10〜11歳女子の部35kg以下)に出場し、初出場ながら準優勝に輝き、国際大会への代表権を獲得しました。

同年11月にカナダ・モントリオールにて開催された第1回チャンピオンシップ国際大会FUJIWARACUPでは、10〜11歳40kg以下女子上級の部の日本代表選手として出場し「優勝」という素晴らしい成績を収めました。

—— 初めての国際大会

試合前はいつも緊張するという吉川さん。「今回の国際大会では初めて外国人選手との試合だったのでいつも以上に緊張していましたが、応援してくれている学校の友だちや先生、家族、道場の仲間のために絶対勝つという気持ちの方が強かったです。また、試合が終わった後はホッとせずごく眠くなって疲れました」と当時の心境を語ってくれました。

優勝が決まり、応援してくれた人たちに良い報告ができることやこの日のために半年間頑張ってきた努力が報われたことは吉川さんにとって本当に嬉しいことでした。

—— 今後の抱負

国際大会優勝という快挙を成し遂げた吉川さんは「自分への甘えがそのまま試合に出てしまうので、道場での稽古でも家での練習でも自分が納得するまで練習に打ち込んでいます。12月にロシアで国際大会が行われるので、日本代表選手として大会に出場し優勝することが今後の目標です。そのために、どんなに辛くても自分に甘えずこれからも努力していきたいです」と更なる躍進への決意を誓ってくれました。



▲気迫のこもった表情で構える吉川さん

あとがき

◆今月号は、特集で広報担当者の仕事を紹介しました。広報紙がどのように作成されているかなど、細かく掲載していますので、読んでいただいでさらに広報紙に興味を持っていただければ幸いです。◆今回の特集を掲載するにあたって、歴代の広報紙をたくさん読み返しました。担当された方の数だけ個性や色、違いがあることに刺激を受け、歴代の先輩方が歩んできた歴史の偉大さを改めて感じました。◆自分はまだ先輩方の背中を追ってばかりですが、少しずつ自分なりの色を出せるようにMさんと協力しながら頑張りたいと思います!◆今後もいろいろな仕事を紹介していければと考えていますので、次はどんな仕事を紹介されるのかを楽しみにしていただければうれしいです!

(D)

◆華やかな振袖や凛としたスーツに身を包んだ新成人の皆さんを見ていたら、1年前の自分の成人式のことを思い出しました。◆何カ月も前から振袖や髪飾り選び、スキンケアなどいろいろな準備をして迎えた成人式当日。一生分と言ってもいいくらい「綺麗」と言われて浮かれていた自分を思い出して、懐かしく感じました(笑)◆式典の第2部で上映されたスライドショーには、歴代の広報担当の方たちが撮った写真が使用されていました。今、自分が保育所や小・中学校の行事などで撮っている写真が、広報だけでなく数年後の成人式でも使用されると思うと、広報担当としての仕事に誇りと責任を感じます。◆見た人が喜んでくれるような素敵な写真がたくさん撮れるように頑張ろうと改めて思いました。

(M)